

●●HSC管内 雪氷車両接触事故報告



- (1) 事故発生日時 : 2022年2月21日(月) 14:10頃
- (2) 事故発生場所 : 名神高速道路(下り線) 375.5 k p
- (3) 事故状況 : 名神高速道路 下り線 関ヶ原IC~大垣IC間の除雪散布作業のため、大垣基地を出発し、大垣ICから本線合流後除雪隊列を組むために、2台梯団除雪の先頭車(散水車 三つ折れプラウ付)が本線合流後追越へ車線変更する際にプラウと相手車両(4t車)のアオリ部分に接触した。
- (4) 被害状況 : 〈人的被害〉なし
〈物的被害〉 当方: プラウ擦り傷、へこみ
相手方: 車体左側アオリ部の擦り傷、へこみ
- (5) 原因 : 梯団後方車両より追越車線移動の合図を受け、ミラーで後方確認を行ったが真横にいた車両を見落としてしまい接触してしまった。

●● HSC管内 雪氷車両接触事故報告

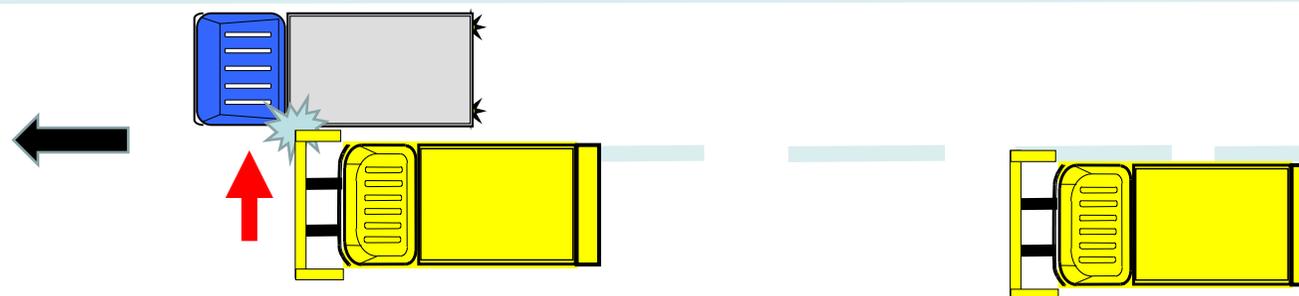


●●HSC管内 雪氷車両接触事故報告

概要図

至 関ヶ原IC

至 大垣IC



- ・梯団を組むため、後方確認(ミラーのみ)し、追越側に移動し始めたが、死角で確認出来なかった普通貨物(4t)がおり接触した。

● ● HSC管内 雪氷車両接触事故報告



対象車両①
除雪車（散水車）



●● HSC管内 雪氷車両接触事故報告



対象車両②
一般車 (4 t)



●●HSC管内 雪氷車両接触事故報告

(6) 対策（改善策）

- ①ミラーだけの確認ではなく、必ず目視確認を実施する。
- ②後方車両からの合図確認後、一定の間隔（通過車両の有無）を確保した状態で車線変更を実施する。（無理な梯団を実施しない）
- ③車線変更時は、窓を開け周囲の状況（車両通行音）等を把握しやすいように運行する。
- ④車線変更に限らず、運転手・助手にて周囲を十分確認して完全確保に努める。